

伊豆市監査委員 告示第3号

地方自治法第199条第4項の規定に基づき定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、監査の結果を次のとおり公表する。

平成30年3月15日

伊豆市監査委員 宮内 知秋
伊豆市監査委員 杉山 誠



記

1. 監査の期日 平成30年1月29日(月)

2. 監査の対象

建設部 用地管理課、都市計画課、上下水道課、建設課

3. 監査の方法

提出された監査資料等に基づき、各担当課の説明を受けた後、事情聴取並びに関係書類の審査を実施した。

4. 監査の結果

監査を実施した範囲においては、事務事業及び予算執行状況は概ね適正に処理されているものと認められた。

5. 監査の概要、意見

対象部課の監査結果の概要及び意見は、次のとおりである。

【建設部】

(1) 用地管理課

① 本年度の市営住宅維持補修工事は、市営愛宕団地G-5号室修繕工事(1,296千円)施工後入居によりベランダの不良が発覚し、同団地ベランダ防水工事(265千円)を行ったと説明を受けた。修繕費は、2,701千円(内装14件、給湯器2件、雨漏3件)であった。9団地の借地料の合計は10,166千円である。12月末現在の市営住宅及び駐車場使用料の現年度分調定額は61,381千円、過年度分調定額は15,421千円となっている。

市営住宅使用料の過年度滞納額は14,536千円となっている。滞納者には、分納制約、明渡し請求の措置をとっているが、福祉部門と生活支援などの連絡調整を図りながら滞納を減らすよう進めていただきたい。

② 本年度の道路・河川占用料の現年度分収納率は、12月末現在、道路占用が99.0%、河川占用が95.5%となっている。また、過年度分滞納額は、道路占用料959千円、河川占用料1,518千円となっている。河川占用は企業が多く、実態を調査の上、破産した企業分につ

いては、不能欠損処分等の手続きを進めていただきたい。

- ③ 国土交通省が進める天城北道路工事進捗状況は、工期最後のトンネルとなる湯ヶ島第三トンネルの貫通式が昨年12月18日に行われ、平成30年12月完成に向けて順調に工事が進んでいる。「(仮称)狩野川高架橋ウォーキング」を12月23日に開催し、地元区民を対象にウォーキングイベント(橋長799m)を開催している。開通前にも市民参加できるイベントを組み、地域に親しまれ、産業発展に繋がる道路となるよう期待したい。
- ④ 地籍調査は、計画地区の全行程を3年サイクルで行っている。本年度は、補助金分として城(Ⅰ)、城(Ⅱ)、冷川(Ⅰ)の中伊豆地区0.94km²を委託料17,604千円で静岡県土地改良事業団体連合会が、小土肥(Ⅰ)、小土肥(Ⅱ・Ⅲ)、八木沢(Ⅰ)の土肥地区0.37km²を委託料14,912千円で株式会社東日が、熊坂(Ⅳ)、熊坂(Ⅴ)、熊坂(Ⅵ)の修善寺地区0.33km²を委託料8,100千円で協和コンサルタント株式会社が、調査事務委託を行っている。本年度の調査面積は1.64km²、全体の進捗面積は24.82km²で、平坦地における進捗面積は70.59%、全体面積に対しては8.60%となっているとの説明を受けた。

(2) 都市計画課

- ① 都市計画の見直しは、本年度に田方広域都市計画区域から伊豆市(修善寺地区)が分割し、市街化区域、市街化調整区域の区域区分を廃止し、特定用途制限区域が指定された。平成32年度末までに伊豆市全域に都市計画区域を拡大して、伊豆市として一体的な土地利用を図る計画のため、修善寺地区以外の3地区(土肥、天城湯ヶ島、中伊豆)で昨年8月と9月に都市計画区域拡大の説明会を実施した。今後も伊豆市の一体的な制度を構築するため、住民の理解を得ながら着実に進めていただきたい。なお、都市計画の見直しが伊豆市にとり最適な都市機能・居住誘導区域の整備に繋がるよう期待します。
- ② 本年度から景観まちづくり条例により伊豆市景観まちづくり計画を進めている。景観まちづくり重点地区計画等策定業務として(株)地域まちづくり研究所に「修善寺温泉・桂谷地区」の景観まちづくり重点地区の指定に向け、地元説明会、実践活動の取りまとめ等を進めている。修善寺温泉・桂谷地区の景観まちづくり計画は、(1)田園、里山、歴史ある資源を大切にする(2)歴史ある温泉場の街並みを守り育てる(3)軸となる河川や道路の魅力を高める(4)地域資源を活用してにぎわいを創出するという4つの方針がある。地元住民が中心となった活動であり住民の為に住みやすいまちづくり計画であるが、一方で伊豆市再生の為に政策であり、全国に発信するブランド力向上の手段である。今後、伊豆市全域に波及し、市民に理解されるような広報と情報共有にも努めていただきたい。
- ③ 平成28年度末に実施した修善寺駅周辺地区の事後評価アンケート調査では、修善寺駅南北通路が繋がったことによる利便性の向上を感じたとの回答に約87%、北口駅前広場の整備による車での利用が便利となったとの回答に約70%の数値が示され、利便性の向上が図られたことを示している。西口駅前広場のにぎわいづくりについては、肯定・否定とも約40%であり、期待される数値ではなく今後の利用方法の検討に期待したい。修善寺駅北駐車場は、毎年利用者が増加傾向であり、平成29年12月末までの利用状況では、前年同

時期に比べ約 2,000 台、利用料金収入も約 40 万円の増加となっている。駅北口のロータリーの路上駐車について、駅北駐車場利用の誘導等の対策をお願いしたい。駅北駐車場の時間帯ごとの稼働率を把握して、利用者の利便を図る対策も検討していただきたい。

(3) 上下水道課

- ① 水道管の布設工事では、簡易水道事業は 1) 本柿木配水管布設替工事（契約金額 13,527 千円）、2) 八木沢配水管布設替工事（契約金額 14,040 千円）、3) 小下田配水管布設替工事（契約金額 8,164 千円）を、水道事業は 1) 年川配水管布設替工事（契約金額 18,792 千円）、2) 茅野送水管布設替工事（契約金額 12,744 千円）、3) 天城北道路関連配水管布設替工事（契約金額 22,842 千円）、4) 芙蓉台配水管布設替工事（契約金額 9,892 千円）、5) 北又配水管布設替工事（契約金額 7,992 千円）を行っていることを確認した。
- ② 下水道事業の管渠布設工事では、繰越明許による 1) 大平地区第 1 工区（平成 29 年分 契約金額 68,388 千円、工事延長 283.5m）、2) 城地区単独第 2 工区（契約金額 4,264 千円、工事延長 40.4m）を、1) 大平地区第 1 工区（契約金額 207,900 千円、工事延長 575.1m）、2) 城地区第 1 工区（契約金額 13,176 千円、工事延長 81.6m）、3) 城地区第 2 工区（契約金額 6,696 千円、工事延長 67.6m）を行っていることを確認した。
- ③ 上下水道料金徴収業務は、(株)ヴェオリアジェネッツに徴収業務を含めた受付業務等を 42,746 千円で委託している。現年度の収納率は各委託会計累計額で平成 27 年度 98.25%、平成 28 年度 98.69%と改善してきている。受付業務のお客さまセンター業務量では、コール件数、異動件数、窓口受付件数等も伸びてきている。また、収納区分別の調定件数では、特にコンビニ収納が平成 27 年度 5,510 件から平成 28 年度は 9,261 件と増加し、利用者の向上が図られている。

上下水道料金収納率の状況

(千円)

会計別	平成 26 年度 (H27.3.31 現在)			平成 27 年度 (H28.3.31 現在)			平成 28 年度 (H29.3.31 現在)		
	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率
上水道	565,547	551,543	97.52	574,964	565,103	98.28	572,680	565,099	98.68
簡易水道	42,778	41,247	96.42	43,398	42,388	97.67	42,724	42,550	99.59
温泉	76,493	75,305	98.45	75,793	74,146	97.83	73,714	72,042	97.73
下水道	278,616	271,702	97.52	279,973	275,413	98.37	284,687	281,309	98.81
農業集落	27,367	26,818	97.99	27,985	27,491	98.23	26,972	26,672	98.89
合計	990,804	966,617	97.56	1,002,115	984,542	98.25	1,000,779	987,674	98.69

水道修繕調査等業務委託では、平成 29 年 10 月から伊豆市上下水道協同組合に市内水道の漏水事故等の受付・相談窓口、現場確認及び漏水調査、漏水修繕業務を月額 1,690 千円で委託し、業務量の負担軽減となっている。

(4) 建設課

- ① 本年度の治山事業工事は 2 件、平成 30 年 4 月から開校する土肥小中一貫校となる土肥中

学校グラウンドの山側に位置する県単独治山（補助）事業の土肥小山洞工事（契約金額 23,274 千円）と北又緑山工事（契約金額 5,940 千円）で、北又緑山工事については、土肥小山洞工事を優先して施工したため、平成 30 年 1 月からの工期となったとの説明を受けた。

② 市道整備事業では、社会資本整備総合交付金事業の市道道芦原馬場線改良工事（契約金額 24,516 千円）と市道整備事業の市道矢熊筏場線改良工事（契約金額 19,386 千円）の 2 カ所の進捗状況を確認する。どちらもおおよそ工事は終了しており、市道道芦原馬場線については国の交付金を、市道矢熊筏場線については合併特例債を活用しての施工となった。

③ 地区要望・一般補修箇所情報に対する対応状況は、次のとおりであった。

	要望件数	建設課関係要望	建設課実施済 (未確定)	実施率
地区要望	344	217	77	35.5%
一般補修箇所情報	272	223	72	32.3%
合計	616	440	149	33.9%

（平成 30 年 1 月 29 日現在）

要望件数及び一般補修箇所の件数は、平成 28 年度より増えている。原材料支給による地区対応が、年々できない地区が増えており、その分の要望が増えてきているとのこと。地区要望については、緊急性等の理由により選択しているが、伊豆市全体の状況を含めて出来ない理由についての情報開示に勤めていただきたい。